

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○「自立と社会参加」をめざし、子どもたちが主体的意欲的になる授業を実践する。 ○授業改善を組織的に行い、専門性の向上を図る	①評価規準に基づいた子どもの姿から目標を明確にした授業づくりにつなげる ②授業公開・授業検討会・学習会等とおして専門性の維持向上を図る	①評価規準に基づいて振り返りを行うことで、子どもの実態を捉え直し目標をより明確にする。 ②一人1回の授業公開、授業検討チームによる授業検討会を通して授業改善を行う。また専門性を高める学習会・研修等を行う。	①子どもの目標達成時の表出方法や行動に着目した授業を行い振り返ることができたか。 ②授業検討会を行い協働的な学びを通して、授業改善を行うことができたか。 専門性を高める学習会・研修会を設定し、専門性の維持向上につなげることができたか。				
2	幼児・児童・ 生徒指導・支援	○ICTによる教育活動など、一人ひとりのニーズに応じた教育を実践する ○アセスメントを充実させ、専門性の高い支援を実現する	①ICTを活用した学習、オンライン授業により、個々の教育的ニーズに応じた教育を実践し、学習活動の充実を図る ②アセスメントツールの活用で、子どもの特性を客観的に評価し、個別教育計画や教育活動につなげる	①ICT活用の効果があった事例を共有すると共に、子ども自身が使うという視点でICTを活用した授業実践を行う。 ②各学部部門において適切にアセスメントツールを活用し、的確な実態把握を行う。	①個々に応じたICTの活用を実践し、効果があった事例等の共有、検証を行うことができたか。 ②的確な実態把握のために、各学部部門に応じたアセスメントツール活用できたか。				
3	進路指導・支援	○子どもたち一人ひとりの生活の充実をめざし、発達段階に応じた進路指導・支援を行う ○将来を見据えた地域生活充実のため、障害者スポーツを促進する	①子どもたちの将来の生活を見据え学部にあたる長期的な進路指導・支援を推進する ②子どもたちの余暇活動の体験機会を充実と障害者スポーツを地域に定着させる	①学部を超えて連携し、校内学習や作業学習などの活動に幼児児童生徒が関わられるようにし、早期からのキャリア教育の推進を図る。 ②本校主催のスポーツイベントの実施を継続するとともに、地域の大会に参加することを通して、子どもたちの余暇活動の体験機会を設ける。	①高等部以外の幼児児童生徒が校内学習や作業学習の見学や体験ができたか。 ②本校主催のスポーツイベントを継続実施することができたか。 地域の大会に参加することで子どもたちの余暇活動の体験機会を設けることができたか。				
4	地域等との協働	○地域社会と連携しながら、社会性を育む	①地域と協働して、地域資源を活かした教育活動や交流及び共同学習を推進することで子ども	①交流デイや地域諸学校との連携を進め、新しい生活様式の中での交流や共同学習の場の機会を増やす。 ②地域の学校と連携して交流や共同学習の場を設けることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		○相模原地区におけるインクルーシブ教育を推進する	<p>達の社会性の育成をめざす</p> <p>②地域の関係機関との連携を図り、巡回相談やネットワーク会議等への参加をとおして、センター的機能の充実を図る</p>	<p>②地域諸学校への充実した支援が届けられるように、センター的機能についてPRする場を積極的に設けるとともに、地域関係機関と連携しながら情報共有の方法等について検討する。</p>	<p>②センター的機能についてPRする場を設けることができたか。</p> <p>地域関係機関と連携して支援の在り方について検討することができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>○信頼と期待に応える学校づくりを推進する</p> <p>○安心して安全な教育環境の整備に取り組む</p> <p>○現実的な防災体制を整備する</p> <p>○不祥事防止の徹底を図る</p> <p>○教職員の働き方改革を推進する</p>	<p>①学校の様子を保護者に発信することで、コロナ禍で不足していた保護者の信頼と学校教育への理解を進める</p> <p>②社会情勢に応じた安全な教育環境の整備を図る</p> <p>③現実的な防災について、様々な想定に基づいた実践を行う</p> <p>④不祥事防止に向けた取組を継続することで発生を防ぐ</p> <p>⑤会議の持ち方や業務の進め方の改善をとおして、教職員の働き方改革を推進する</p>	<p>①年2回の授業参観日を設定し、保護者への発信力を高めるとともに、感想アンケートを取ることで、保護者の声を聴く機会ともする。</p> <p>②日常的な点検や修理、改善を行うことで教育環境の整備を行う。</p> <p>③車いす搬送を含めた全校避難訓練を年2回、防災宿泊を年1回実施する。また学校安全計画、危機管理マニュアルを元に実践的な不審者対応等に取り組む。</p> <p>④研修会の充実、日常的な意識付け、同僚性の向上、職員のメンタルヘルス等、多角的な取り組みを維持、継続することで不祥事を防ぐ。</p> <p>⑤行事、会議、業務の見直しや精選を積極的に行うとともに、人的資源の有効活用、業務分担、進め方等の改善を行う。</p>	<p>①授業参観日等を通して、学校での様子を知らせてもらうことができたか。</p> <p>保護者からの意見を吸い上げることができたか。</p> <p>②教育環境の整備を進めることができたか。</p> <p>③危機管理マニュアル等を活かした、実践的な防災訓練を実施することができたか。</p> <p>④研修会等取り組みを通して、事故不祥事を起こすことなく学校運営をすることができたか。</p> <p>⑤実感を伴った行事や会議、業務の精選をすることができたか。</p>					